

名家連ニュース

平成 24 年 2 月 19 日 (日)
発行：特定非営利活動法人
名古屋市精神障害者家族会連合会
会長 堀場洋二
TEL/FAX(052) 411-2890 NO. 189 号

提言を反映した新法制定を求め2.18愛知障害フォーラムを開催！

参加者 400 名を超える熱気の中でフォーラムが開会。
基調講演では講師の森祐司氏（日本身障連常務理事・事務局長、
障害者制度改革推進会議構成員）から自立支援法改正及び骨格
提言と政府案の問題点、今後の課題報告がありました。政
党ソポゾウムではコディネーター林智樹氏（金城大学教授）から上
記問題について各党の立場・見解を尋ねました。



中根康浩氏（民主党衆議院議員・前厚生労働委員会理事）
「現在の党内の議論は先の厚労省案からは着実に前進してきているので見守ってほしい」
（民主党案、来週 2/27 にも発表予定）「低所得者の実質無料化や制度の谷間の解消など
つなぎ法や政府案にも改善面があること」への理解を求めました。

田村憲久氏（自民党衆議院議員・厚生労働委員会理事）「支援費制度から障害者自立支援
法に至った経緯」を紹介した上で「障害の特性や生活環境を考慮してサービスを決定する方
向性」や「障害者福祉制度改革の財政措置」が「税と社会保障の一体改革、消費税
10%」に入っていない問題点を指摘しました。

荒木清寛氏（公明党参議院議員・政策審議会長）「自立支援法の不満の声を謙虚に受け止
めて改正に取り組んできた経緯」や「骨格提言は公明党の新福祉ビジョンと 7～8 割共通す
る」ことを紹介。また、「厚労省案に対する厳しい意見が予想以上に大きいことを痛感し、
障害者・家族が当たり前に地域で暮らせるよう努力する決意」を披歴しました。

尾上浩二氏（総合福祉部会委員）障害程度区分など「今すぐ全てを」とは言っていない。
IT 事業の検証や「地域基盤整備 10 年戦略」の策定を提言している。政府案に 130 団
体が抗議している。工程表を示し、この程度で終わらせないことを確認してほしい。

森祐司氏（コディネーター）国（厚労省）は自立支援法違憲訴訟団と「基本合意文書」を交わし
て和解した。司法の判断を国は重く受け止めなければならない。

—「決議文」と「参加者の意見」を政府、国会に届けることを確認—

この後、仁木副代表（名古屋手をつなぐ育成会理事長）が決議文を読み上げ、湧きあがる
拍手で承認し、議員に手渡しました。岩田副代表（愛知県聴覚障害者協会会長）の閉会挨拶
で「決議文」と「意見用紙」に記された参加者の全ての「意見」を関係大臣、政務官、
愛知県選出の国会議員に直送し、私たちの思いを届けることを確認しました。

～こころの健康を願う家族と市民のつどい～

「晴ときどき虹」

主催：名古屋市精神障害者家族会連合会 名古屋市

俳優の天野鎮雄さんが出演します
みんなで楽しい一日を過ごしましょう！

22日(水) 午後1時～4時
— 仲間とともに中区役所ホールへ —

